

～基礎から始める都市地震工学シリーズNo.3～

第1回 一般セミナー

■プログラム

14:00～

「災害の行動科学—被害の大きさを左右する人間的要因—」

大野隆造 教授 (大学院総合理工学研究科人間環境システム専攻)

15:00～

「地震の揺れの科学—東日本大震災での揺れはなぜ長かったのか—」

山中浩明 教授 (大学院総合理工学研究科環境理工学創造専攻)



～基礎から始める都市地震工学シリーズ～

「都市地震工学センター」は、今後も発生が危惧される巨大地震や直下型地震による震災メカリスクの軽減を目指し、行政・市民・企業と連携を図りながら、教育・研究・普及活動を進めています。

今回の未曾有の東日本大震災で、改めて当センターの果たす役割と使命を認識し、自然の脅威に対して謙虚且つ真摯に研鑽を積むとともに、このような震災の軽減施策をより実践的なものにするために、各活動を推進したいと考えています。

本セミナーは、年5回を1シリーズとして、各分野の専門家が、都市地震工学の各テーマについて、東日本大震災での調査結果も交えながら、一般の方にも分かりやすく解説します。

シリーズを通して参加された方には、「皆勤賞」も用意しています。是非ご参加ください。

2011年**6月3日**(金)

14時00分～16時00分

(13時30分開場)

参加費無料
定員100名

キャンパス・イノベーションセンター

1F 国際会議室

(JR 山手線 田町駅下車「芝浦口」を出て右手前方)

主催: 東京工業大学 都市地震工学センター

<http://www.cuee.titech.ac.jp>

参加ご希望の方は、事前に以下のHPまたはメールにてお申し込みください

<http://www.cuee.titech.ac.jp/seminar/> office@cuee.titech.ac.jp

■問合せ先: 東京工業大学 都市地震工学センター TEL&FAX: 03-5734-3200